

闘技場

小森

Arena Rin

-6-  
bowalia



客船ジェーン・グレイ  
前方上甲板

来たね

で、誰も見てないところで  
アタシを倒そうってワケ

あんな古典的な  
置き方初めて見た

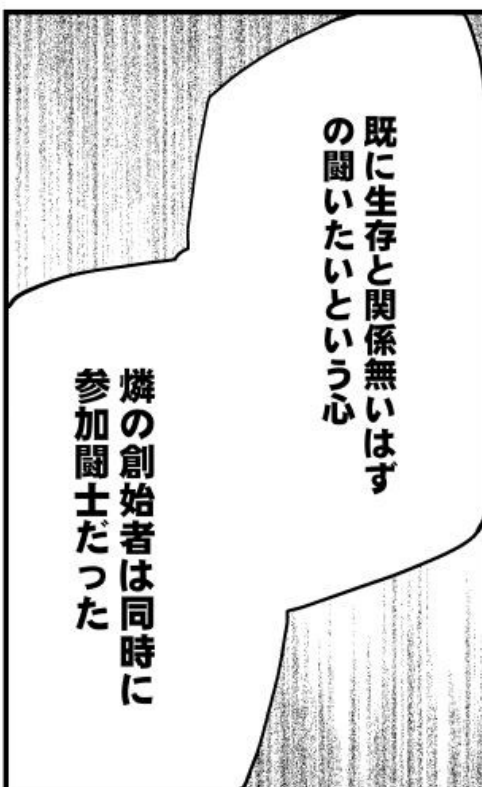
未開封に見えたけれど  
たぶん同室のユカリは  
もう中身読んでるわよ

上甲板に来いとしか  
書いてないでしょ

読まれても  
困らないよ

だからサシで  
この船の事を  
教えてあげる

前は実質私の  
負けだった  
でもそれが判断  
出来るのは我々  
二人だけ



沙季美が創始者なの？

そんなに新しいように  
見えたのあの舞台

ただ近代的に電子集計や  
オッズ算出をシステム化  
したのはアイツだよ

エラく闘技に惚れ込んで  
たからねえ

こればかりはアタシの  
責任やないわ…

それで私の飼い主…まあ便宜上  
そういう役名なんだけど

シヤスチって女が下剋上して  
船首が交代したんだよね

その後は見ての通りだよ

アタシが連れて  
来られた理由は？

ンなもん沙季美に聞いてよ  
本来なら航海後半の闘士は  
人数足りてたんだから

ていうことは沙季美の  
独断で他の人間の意思  
は無かったわけか

いやアタシの  
責任になるんか…

もし元いた闘技場の  
事を知って沙季美も  
そういう趣味に入って  
しまったとしたら…

なんだ  
もういいのかな

別に聞きたくて  
闘ったんじゃない

それもそうだったね

あ、そうだ

めちやくちや怒られたよ  
綾乃と闘いたって言ったら

アンタの生死がどうなるにしろ  
一生闘う事はないだろうね



待ちなさい  
だったら話は別よ

おやおや

負ける経験を  
増やしてあげないよう  
配慮してあげたのにねえ



…子様

シヤス子様!!

大変です上甲板が…

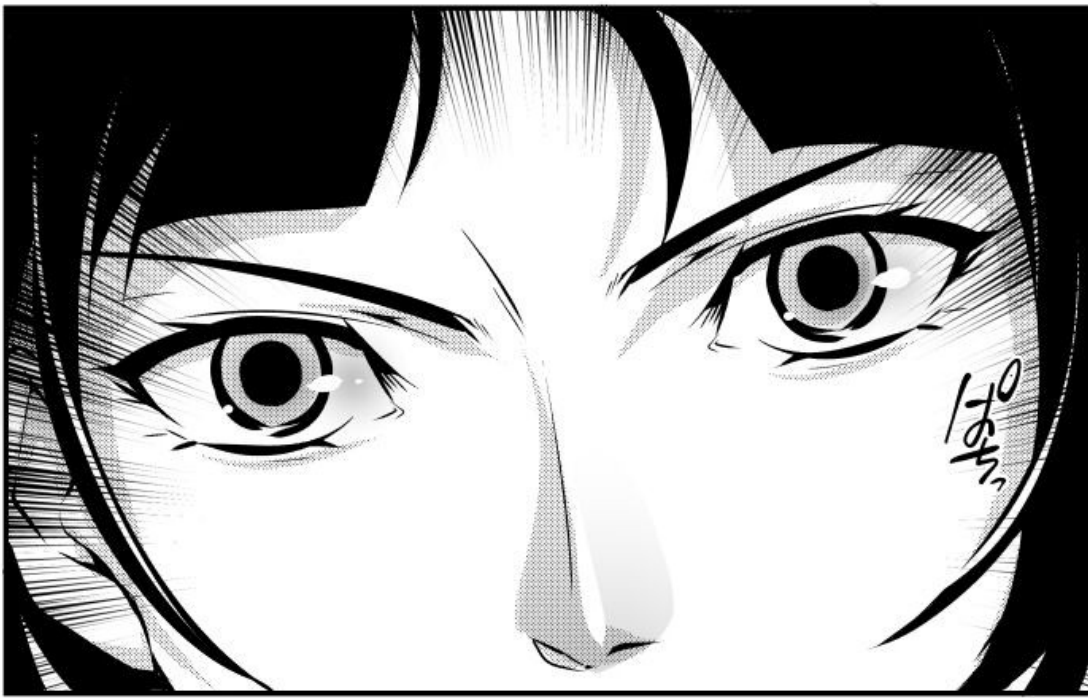


隣の闘士二人が  
甲板で殴り合い  
してんだってよ



ん?  
何かな?





綾乃はどうする…!!

止めたア!?

あの縮地に対応  
したっていうの!?



違うよ菜々春  
アタシにはこいつの  
狙う場所が判った

腹を狙うとわかってた  
だから高く構えてから  
屈んで防御したんだよ

けどそれすら予想  
してたって顔してる



憶えとき

これが  
アタシの速度

ほらやっぱフェイ  
避けたぜ

あの  
踏み込みは!?

さっさと  
やっちまいな

なんだ!?

ッあ!!

だがこいつは...

クソツタレ!!  
お前達に何が解る!?  
私の縮地は気を逸らす  
言わば手品の一種!!

こいつは地力で  
あの速度を出した!!

キ

よし

縮地自体は  
まだ通じる

当然だ

身体の動きが速くても  
反応速度が変わるわけ  
じゃあないしね



けどそれは  
向こうも同じ!!

綾乃は超身体能力で  
私は死角と錯覚で  
互いに意表を突く  
お互い超人みたいな  
反応速度を持つてる  
わけじゃないんだ





おお!!  
決まったか!?



今のは最高のタイミングで  
水月を突けたけど再びチャ  
ンスがあるかどうか…

こっちだって  
ボディに良いの  
もらってるし…



いや…  
綾乃の方を  
見る!!

頼むから効いてよねえ



クソッ  
まだ動けるのか!?  
迎撃を…!!



ひゅけッ



よっ…



しゃん!!!

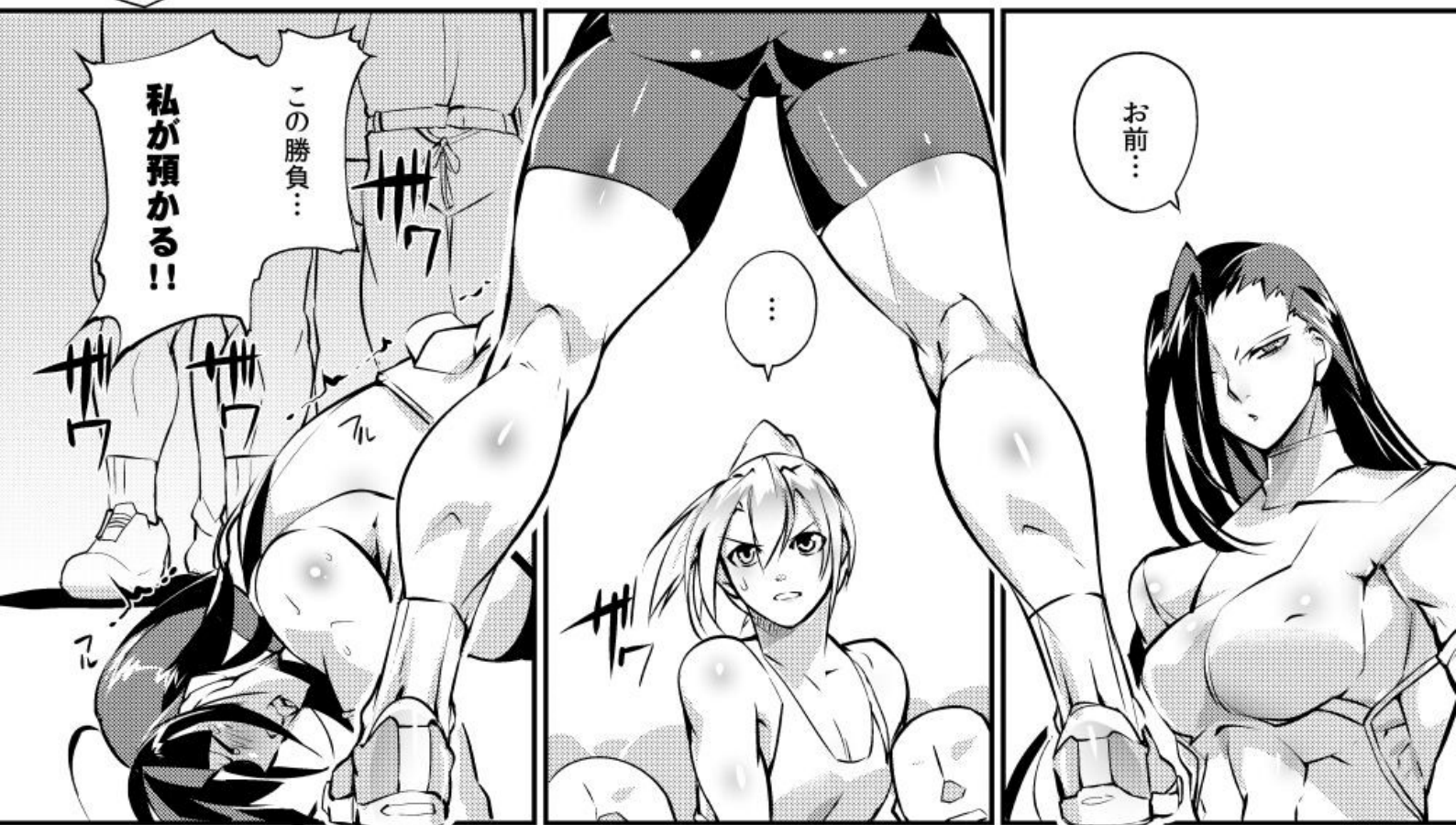
ハハ!!  
なんだよそのトロい  
タツケルはさあ!!

一体どんな技かは知らないが…  
私が使ったのは憶えの反転だ!!  
今の闘いで見たことが無かった  
唯一の物は綾乃の呼吸!!

横隔膜を突き続けた私の  
考えは間違ってた!!



そこまでよ



この勝負...

私が預かる!!

お前...



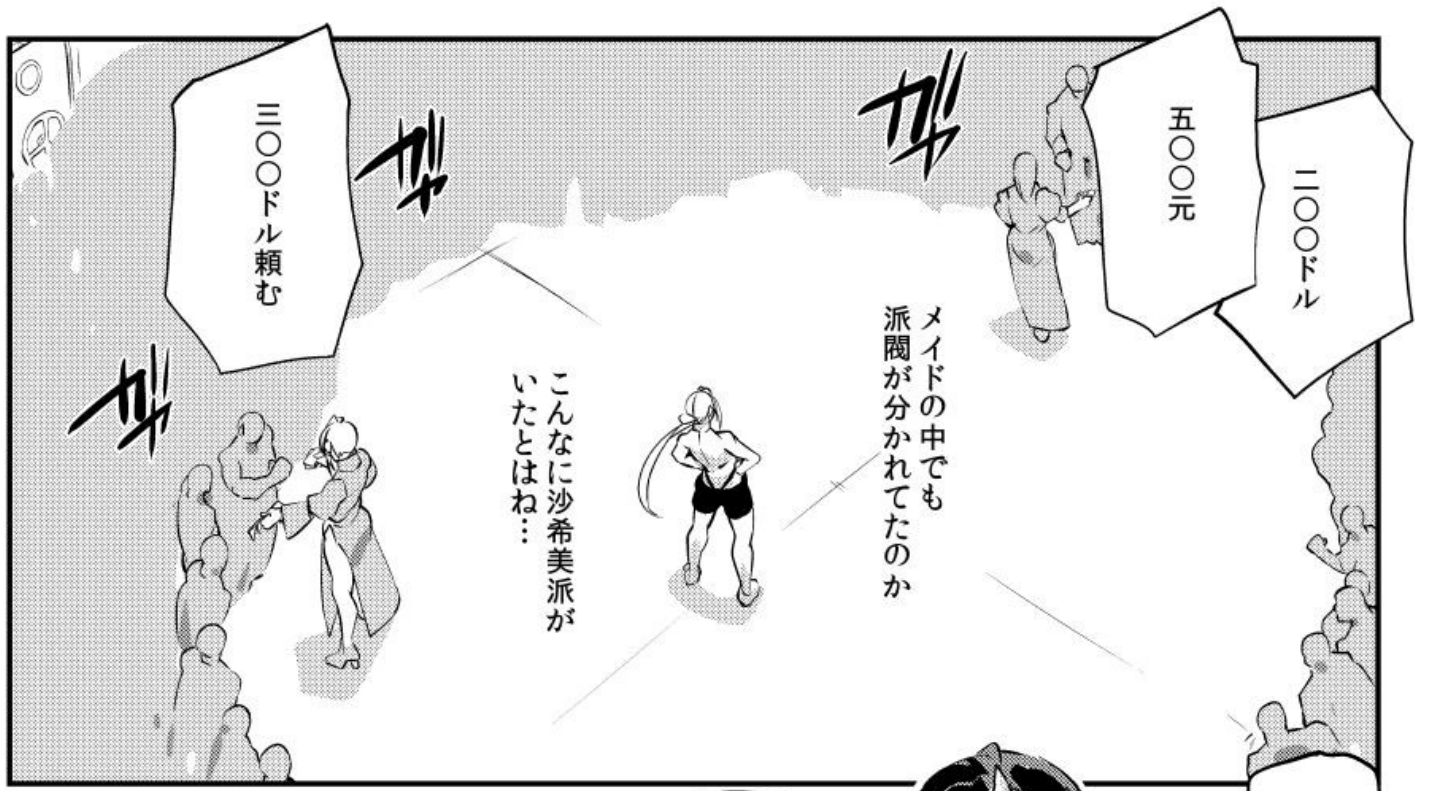
小路沙希美!!

預かるだってエ?

望んで作った  
ワケじゃないが

この観客の空気は  
どうすんのかなア!!





三〇〇〇ドル頼む

五〇〇〇元

二〇〇〇ドル

メイドの中でも  
派閥が分かれてたのか

こんなに沙希美派が  
いたとはね…

今まで…どこか  
行ってたのよ…

なあに？  
心配して  
くれてたの？

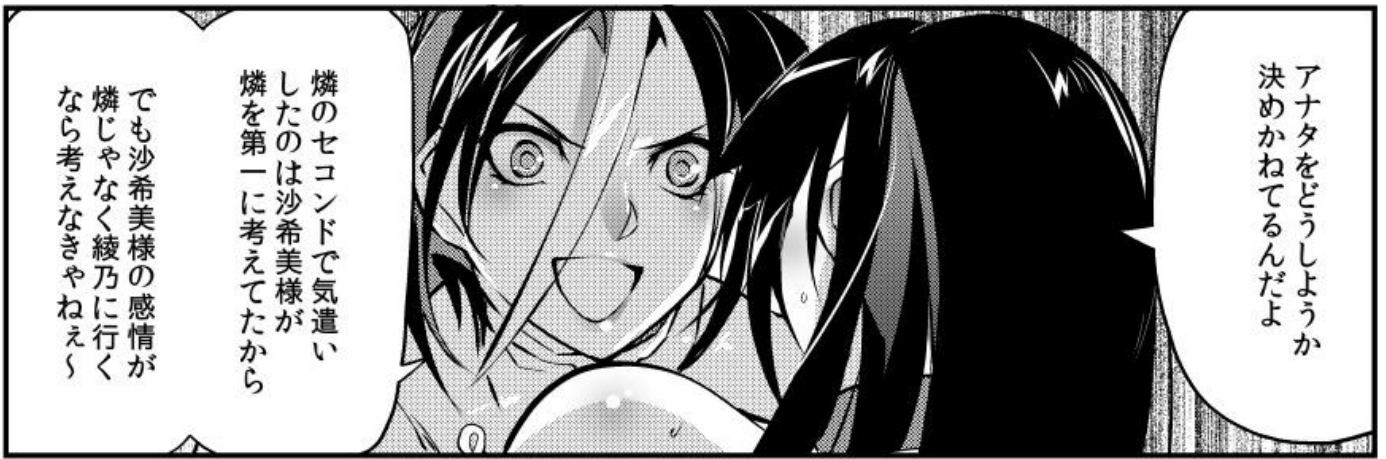
ワタシがいないと  
沙希美様は他の人に  
八つ当たりするから

放っておけない  
んだよね

とんだ博愛主義ね  
この船下りた方が  
いいんじゃないの

ほんとはね

？



アナタをどうしようか  
決めかねてるんだよ

隣のセコンドで気遣い  
したのは沙希美様が  
隣を第一に考えてたから  
でも沙希美様の感情が  
隣じゃなく綾乃に行く  
なら考えなきやねえ



はいそこまで

ちよつと  
菜々春…



ハハ…

こういう女こそ  
信用できる…



いや事態は  
より深刻なんだよね



共倒れさせて生き  
残ろうって考えかな

どうせアナタ綾乃と  
デキてるんでしょ



綾乃をどうにかする前に  
シヤスチをなんとかした  
方がいいよ



ちよつとちよつと  
ちやんと着地点考えて  
喋ってんでしょね

それで?

沙希美の興味が憐だけ  
だったらその奪還を  
企図するに決まってる

そして綾乃のみに固執  
するならさつき助けて  
場を畳むよね



つまり沙希美の  
興味は新しい闘技場!

シヤスチに対抗する事しか  
頭にないって考えるのが  
一番自然なのさあ!

地位から追われた事も  
考えれば誰に執念を  
持つてるかわかるん  
じゃないかな!?

よくもまあぬけぬけと  
でまかせ言えるもんね…



沙希美と菜々春ってアタシが  
知らないうちにそんなに信頼  
生まれてたの?

そんなワケは無い…  
沙希美の性格から考えて

…いや

沙希美の何を  
知ってるって  
言うんだアタシ



それでは  
第2ラウンドだ!!

チツ  
回復したよね  
そりゃ...

これ以上知らない技  
出されたら困るな

こんな戦いを  
見せてくれる!

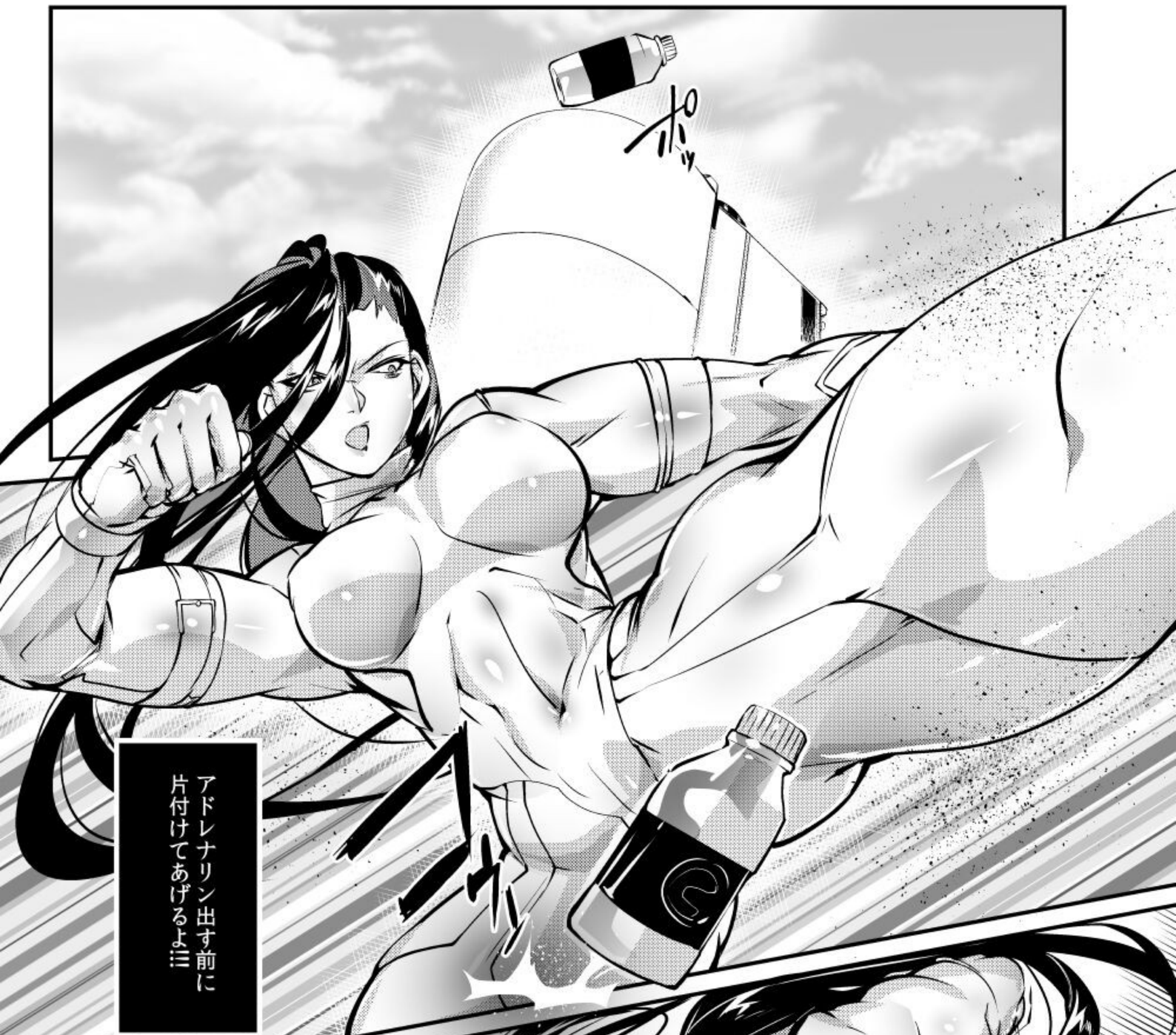


必要ない



はい

フライパンと棒か何か  
ゴング代わりになる物  
持っていないかい



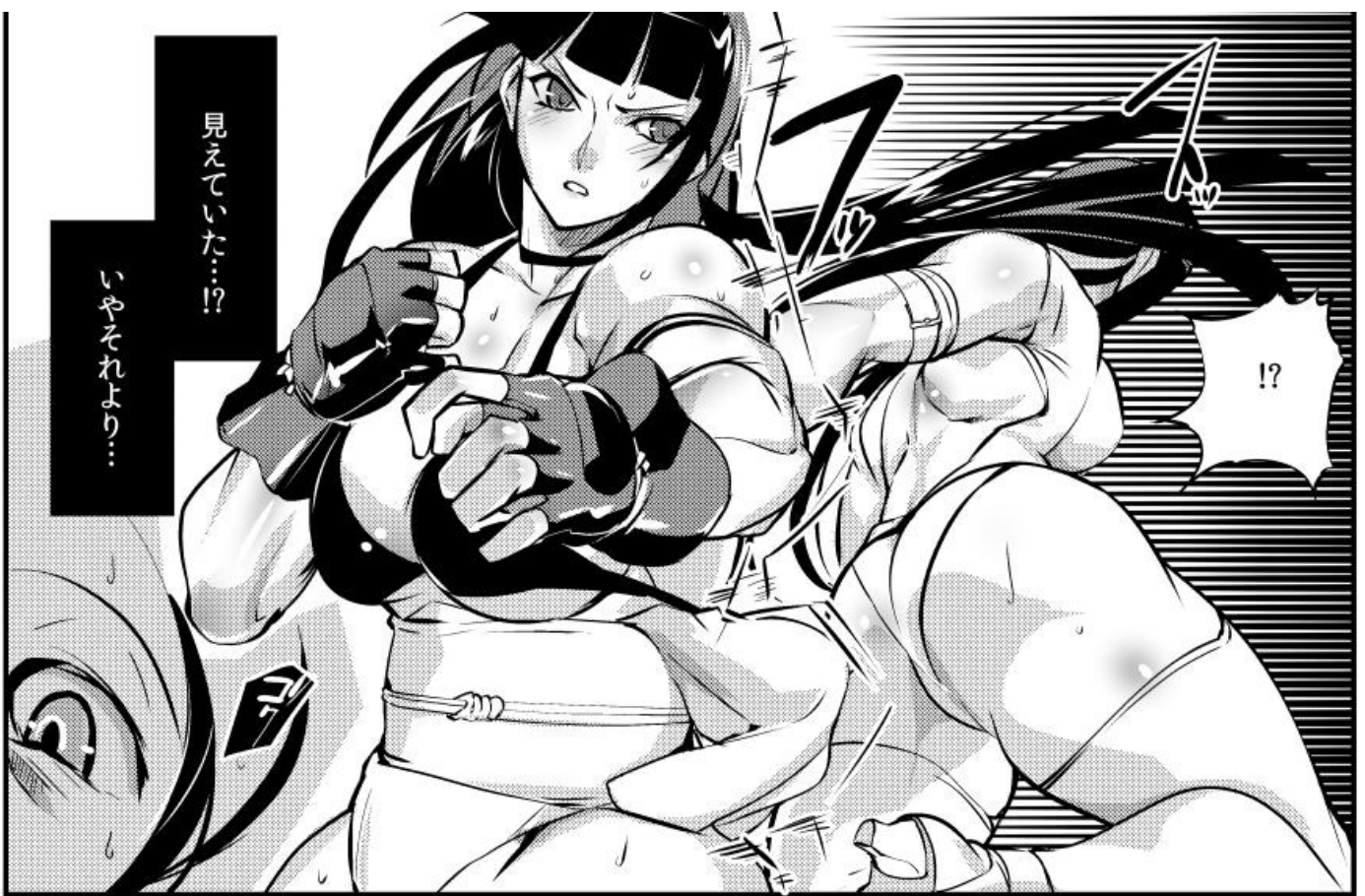
アドレナリン出す前に  
片付けてあげるよ!!!



よく後ろに避けれた  
明らかにさつきより  
観客が増えてリング  
狭くなってるはず  
なのにさ…



だからこそか？  
縮地で後ろを取れば  
当てずっぽうの裏拳で  
迎撃できると踏んでる  
のかな…？



見えていた…!?  
いやそれより…

!?



瞳孔が爛々と開いている…!!  
仕切り直し中に休まなかつたのか!?

言ったでしょ  
今回はアンタを倒すって



まあいいさ…  
横隔膜へのダメージが  
そう何分足らずで消える  
わけではないからね…

菜々春ちゃんと  
説明してくれよ!!

そうだそうだ!

何が起こつたのか  
わかんねえよ!!

ウザァー!!

このまま  
内蔵を



これが綾乃の本気なのか!?  
何故かはわからないが  
今までは覇気が違う!!

どんなスタミナだ…



あおおあーら



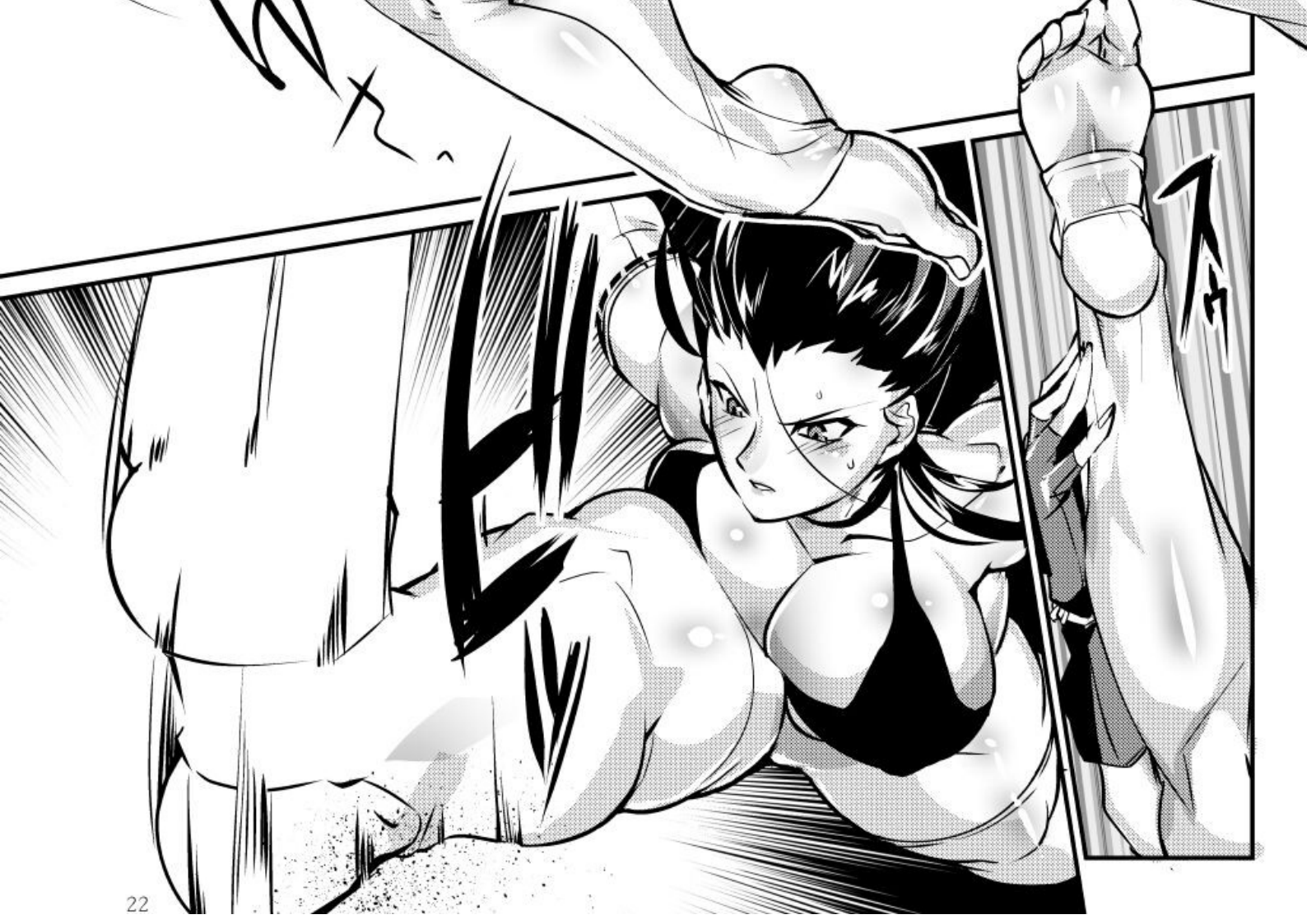


すげえ!!

きうごめ  
かよ!!

さあ見せえや...

「体どうやって対応する  
観客もそれを楽しみに  
してはるわ!!」





やはり普通じゃない!!  
まさかの関節で反撃!!

普通なら仕切り直すけど  
フェイはどうする!!

避けた!!



折る気!?

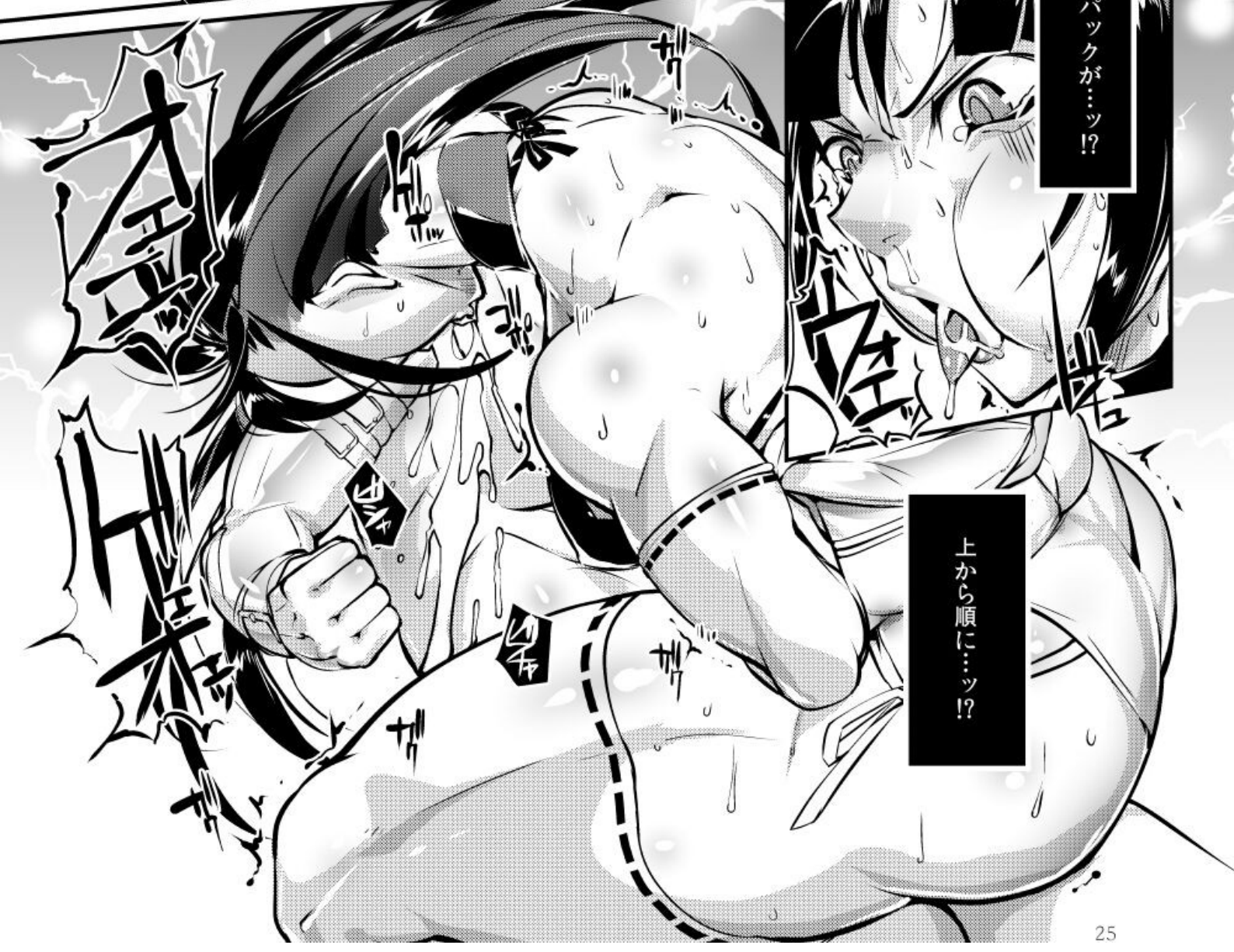
へへ：  
久し振りだよ  
こんなの

!?

お返し



ほおッお!?



ば、パツクが…ッ!?

上から順に…ッ!?



こんな体勢からも  
予備動作なしで  
膝を出せるのか!?

嘘だろ!!

アエッ...

ハッ!!  
チアノーゼだ!!

呼吸が浅くなりすぎて  
酸素を供給できないよねえ!!  
立ってられない!!

私が倒れる前で  
良かった!!

いッ!  
!?

ガッ!  
!?

そっか…倒れ込む  
勢いを利用して…

勢いに任せたりをして  
自分の位置も私の位置も  
把握して攻撃を…

ゲボ吐いた直後の  
パウンドで私の  
避ける方向を  
誘導したのが…

観客の位置から私が  
どの方向に動くか  
予想して…

最初からそっする  
つもりだったのが…？

もっとうだうていい…  
今回は私が負けたのだ

# 場

相手を倒して完成する

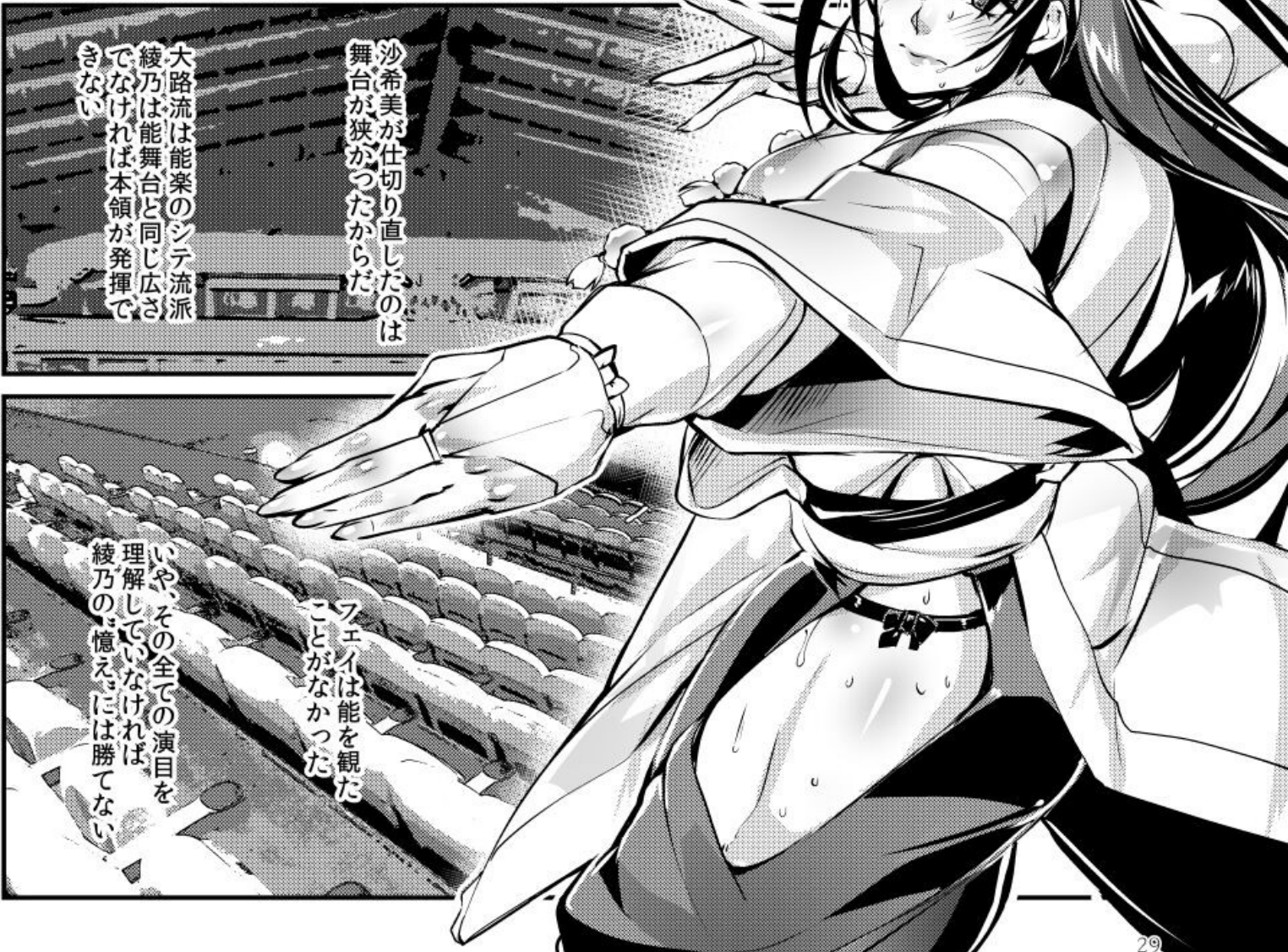


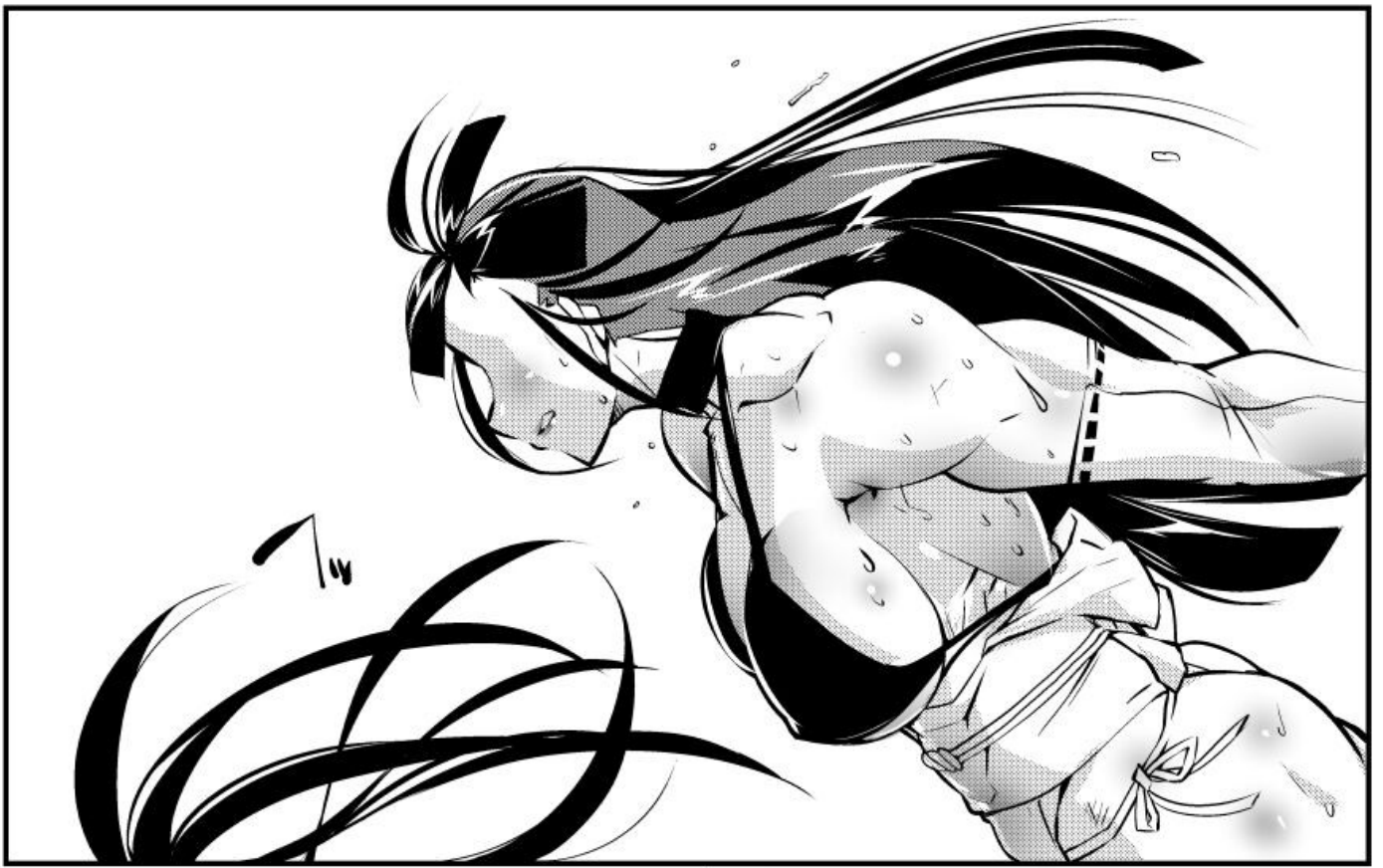
沙希美が仕切り直したのは  
舞台が狭かったからだ

大路流は能楽のシテ流派  
綾乃は能舞台と同じ広さ  
でなければ本領が発揮で  
きない

フェイは能を観た  
ことがなかった

いや、その全ての演目を  
理解していなければ  
綾乃の憶えには勝てない



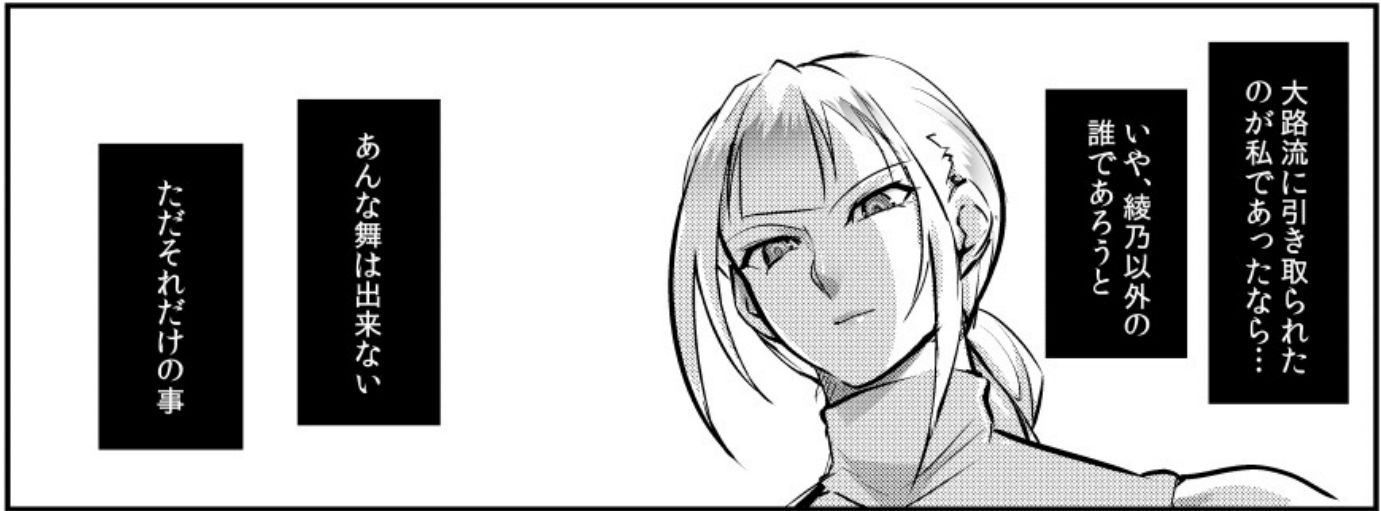




勿論知っていた

能の演舞は心拍一七〇を  
超える運動が何分も続く

これほど長時間舞っていれば  
休まねば死んでしまう



大路流に引き取られた  
のが私であったなら…

いや、綾乃以外の  
誰であろうと

あんな舞は出来ない

ただそれだけの事

母と私が捨てられて  
綾乃が拾われた理由

この世という  
舞台は残酷だ

あとがき

第一部はこれで終わりになります。  
読んで頂きありがとうございます。

*bonalia*



## 闘技場 燐6



03/30.2022

著者 : bowalia  
bowalia@gmail.com

発行 : TLG  
bowalia.livedoor.blog/

本作品はサークルTLG:bowaliaの創作物です。  
無断での複製、加工、アップロードを禁止します。  
また頒布の責任が持てない点、高額転売を抑制  
する点から、オークション等での出品、中古流  
通についてもご遠慮ください。  
ご意見ご感想は上記アドレスまでどうぞ。

TLG©2022

9041



• TLG 2022

